

内田 樹

西宮で教育を語る!

教育講演会

演題 「移行期的混乱の中の教育」

講師：内田 樹（元神戸女学院大学教授）

と き：2017年1月18日(水) 開演 17:30 開場 17:00

と ころ：西宮市民会館アミティホール

主 催：西宮市教職員組合（TEL 0798-34-2341）

後 援：西宮市教育委員会

入場無料・申し込み不要



内田 樹さんからのメッセージ（裏面に内田さんのプロフィール）

パリの同時多発テロ、イギリスのEC離脱、アメリカ大統領選でのトランプの勝利に至るこの間の政治的事件は〈グローバルズム〉が終末局面に入ったことを教えている。

各国地域はこれから〈アンチ・グローバル〉の方向に舵を切ることになるけれど、それが社会現象としてどういうかたちを取るようになるのかはまだ誰にも予測できない。

この先行きの見えない時代に学校教育は何を子どもたちに教えるべきなのか。それについて一緒に考えたい。

市民、保護者のみなさん、私たち西宮市教職員組合は永年にわたり教育講演会を開催し、みなさんと一緒に、西宮市における子育てや教育について考えてきました。

これまでに講師として妹尾河童さん（「少年H」著者）、乙武洋匡さん（「五体不満足」著者）、朝原宣治さん（オリンピック陸上競技メダリスト）など各界の著名人をお招きし、それぞれの経験や見識から多くのことを学んできました。

2017年の教育講演会は内田樹さんうちだたつるを招き、左記の内容で講演いただきます。

世界的な情勢の変化で今後の社会は一層不透明感を増していくかもしれません。

この混乱の時代に学校教育は何ができるのか、一緒に考えませんか。

みなさまのご参加をお待ちしています。

内田 樹（うちだ たつる）

1950年東京都生まれ。東京大学文学部仏文科卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程中退。神戸女学院大学文学部助教授・教授を経て2011年に退職。現在、神戸女学院大学名誉教授。京都精華大学客員教授。昭和大学理事。神戸市内で武道と哲学のための私塾「凱風館」を主宰。合気道七段。

主著に『ためらいの倫理学』、『レヴィナスと愛の現象学』、『先生はえらい』など。『私家版・ユダヤ文化論』で第六回小林秀雄賞、『日本辺境論』で2010年新書大賞。執筆活動全般について第三回伊丹十三賞を受賞。

近著に『困難な結婚』、『世界「最終」戦争論』（姜尚中との共著）、『属国民主主義論』（白井聡との共著）、『転換期を生きるきみたちへ』（編著）など。